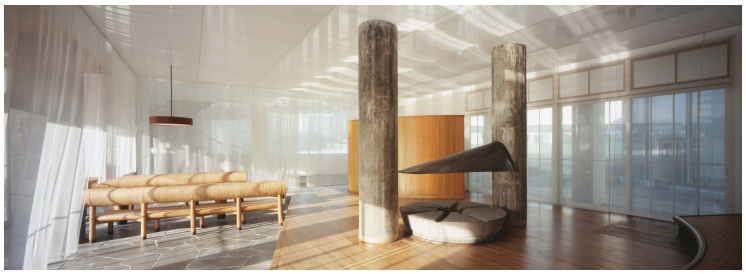
衣（京絞り）食（懇親会）住（建築空間）遊（公演　展覧会　講演）を愉しむ Vol. 1

「土方巽生誕百年」支援プロジェクト

『舞踏の源流　文楽』アーカイブから未来へ



2027 年 2 月 25 日(木)　東京公演

共催：慶應義塾大学アート・センター

慶應義塾大学三田キャンパス 旧ノグチ・ルーム/東京

©Keio University Art Center/ Photo: Ryota Atarashi





3 月 9 日（火）

谷川賢作ライブ maximal “Kensaku Tanikawa Piano solo”

協力：倉敷市指定重要文化財楠戸家住宅

倉敷市指定重要文化財楠戸家住宅内　atelier & salon はしまや/倉敷



3 月 10 日(水)　京都公演

国の重要文化財指定 京都文化博物館別館ホール/京都

人形浄瑠璃文楽とダンスに日本的な身体感覚を取り入れた舞踏との共通性を探る公演『舞踏の源流 文楽』のアーカイブ制作とライブを行い、伝統と前衛、異なる二つの身体表現から日本文化の独自性を浮かび上がらせます。

土方巽著「病める舞姫」を詞章とした舞踏と文楽のコラボレーション作品は太夫の語り、三味線の音楽に合わせ舞踏家が踊り、人形遣いは人形を持たず操る技を行います。

谷川俊太郎のやさしい言葉による深い意味を伝える創作曲「minimal」と文楽のスタンダード「日高川入相花王『渡し場の段』」がその橋渡しになることでしょう。 2028 年、土方巽生誕 100 年支援。

●舞踏「minimal」　テクスト・声 谷川俊太郎（詩人）
振付・出演 由良部正美（舞踏家）
作曲・演奏 谷川賢作（ピアニスト　作・編曲家）

●「舞踏の源流　文楽」　コトバ・土方巽著「病める舞姫」より　翻案・伴野久美子
作曲・演奏　豊竹若太夫（太夫）　演奏　豊竹希太夫（太夫）
作曲・監修　鶴澤清友（三味線）　演奏　鶴澤友之助（三味線）
身体表現/振付・出演　由良部正美
身体表現/演出・監修　桐竹勘十郎（人形遣い）
出演　桐竹勘次郎　桐竹勘介　桐竹勘昇　桐竹勘吉（人形遣い）

●文楽「日高川入相花王」『渡し場の段』
豊竹希太夫 鶴澤友之助 桐竹勘次郎 桐竹勘介 桐竹勘昇 桐竹勘吉

助成：公益財団法人全国税理士共栄会文化財団　アーツサポート関西（京都公演）　認定：公益社団法人企業メセナ協議会

主催：一般社団法人パフォーマンス イン ミュージアム実行委員会

お問い合わせは　伴野　**080-9163-6086**　**bankumi@a.konan-u.ac.jp**